令和８年度「香川県県政世論調査結果（速報）」

香川県では、県政の諸問題について、県民の方々の意見や要望等を把握し、今後の施策立案に際しての基礎資料とするため、毎年度「県政世論調査」を実施しています。

今年度は、５テーマについて５～６月に調査を実施しました。「県政の重要度と満足度」については、平成１４年度から毎年度実施しています。

◆調査の内容

１．救急医療と人生の最終段階における医療・ケアについて

救急電話相談事業のさらなる質の向上、選定療養費についての意識調査、また、人生の最終段階における医療・ケアの充実を図る目的で、どういった取り組みが有効かを把握するために、救急医療と人生の最終段階における医療・ケアに関するご意見をお聞きしました。

２．障害者福祉について

令和８年度に、現在の「かがわ障害者プラン」（令和６年度～８年度）の見直しを行い、新たな障害者プラン（令和９年～11 年度）の策定に当たっての基礎資料とするために、障害者福祉に関するご意見をお聞きしました。

３．香川県の広報について

ホームページリニューアルや今後の広報手法の改善に向けた参考とするため、ホームページや県広報に関するご意見をお聞きしました。

４．多文化共生について

多文化共生社会の実現に向けた次期プラン策定および施策検討の基礎資料とするため、住民の意識や課題について把握するために、多文化共生に関するご意見をお聞きしました。

５．県政の重要度と満足度について

「『人生 100 年時代のフロンティア県・香川』実現計画」に掲げた施策について、成果や課題を分析しながら計画を着実に推進するため､行政評価の一環として、県政の重要度と満足度に関するご意見をお聞きしました。

◆調査の概要

調査地域	香川県全域
調査対象	県内在住の満 18 歳以上の男女　3 千人
抽出方法	選挙人名簿層化二段無作為抽出
調査方法	郵送法（郵送配布。回収は郵送とＷｅｂ回答の併用）
調査期間	令和８年５月 20 日～６月 11 日
回収結果	有効回収数 1,571（有効回収率　52.4%）

※詳しい調査結果は 11 月下旬～12 月に発表する予定です。
※回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出し、小数第２位を四捨五入しました。このため、百分率の合計が 100.0%にならないことがあります。

◆ウェイトバック集計

平成 29 年度より、調査結果を県政へ反映させるに当たり、年齢による回収率に差が生じる傾向にあるため、より実態に近い参考値として、ウェイトバック集計の導入を行っています。

ウェイトバック集計とは、実際の本県の「年齢別」人口構成比に合わせて、回収結果を補正するものです。

なお、この調査結果は速報のため、主な調査結果については、ウェイトバックした値は記載していません。調査回答者の属性及び単純集計結果（調査票）については、（　）書きで併記しています。

$$\text{ウェイト値} = \frac{\text{有効回答数}}{\text{年齢区分別回答数}} \times \frac{\text{年齢区分別人口}}{\text{香川県 18 歳以上人口}}$$

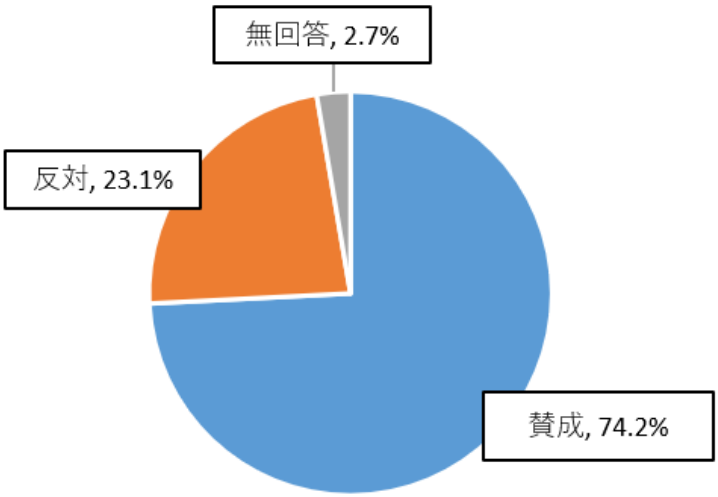
◆主な調査結果

１．救急医療と人生の最終段階における医療・ケアについて

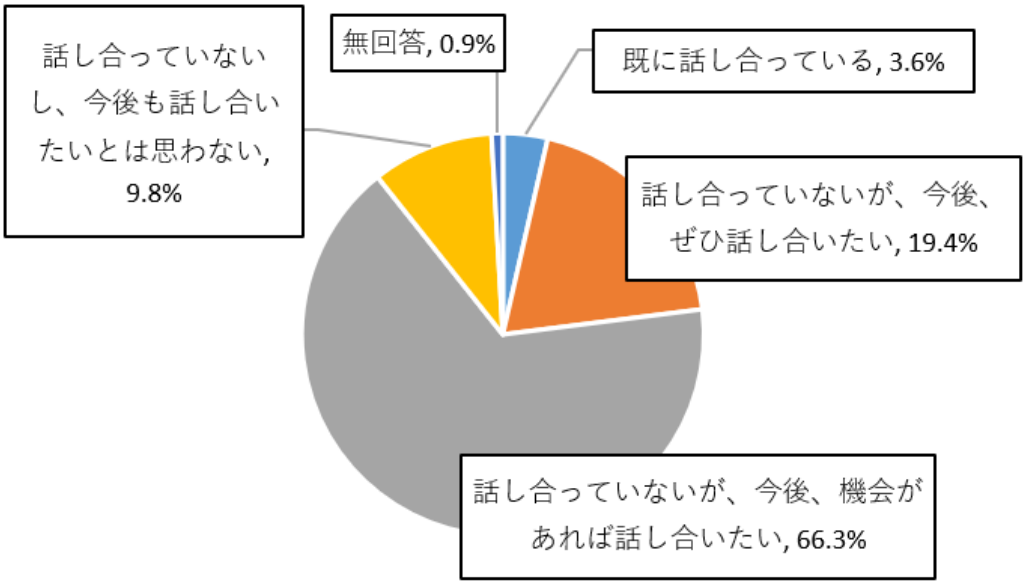
救急搬送において、緊急性の認められない方から選定療養費（特別の料金）の徴収を行うことについて、「賛成」74.2%、「反対」23.1%となっている。

また、ACP（自分らしく生きるために大切にしていることを、周りの人・医療関係者などと繰り返し話し合い共有することで、意思を尊重した医療・ケアを受けられるようにするための取組）について、「話し合っていないが、今後、機会があれば話し合いたい」66.3%が最も高く、次いで「話し合っていないが、今後、ぜひ話し合いたい」19.4%、「話し合っていないし、今後も話し合いたいとは思わない」9.8%となっている。一方、「既に話し合っている」は3.6%にとどまっている。

選定医療費の徴収への賛否



ACPについて話し合いたいと思うか

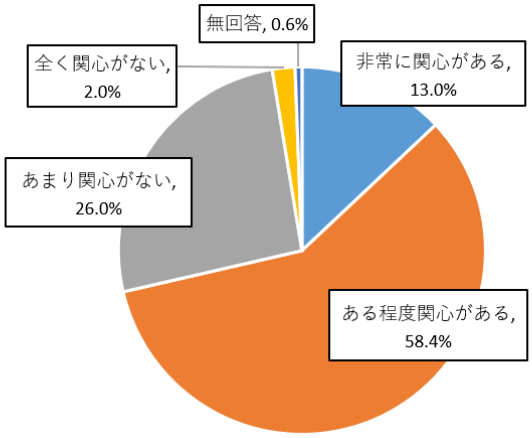


２．障害者福祉について

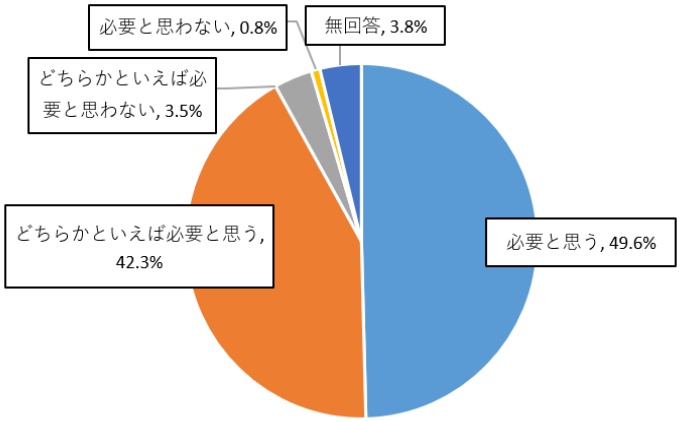
障害者に対する福祉への関心について、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた【関心がある】の割合は71.4％となっている。

障害のある方も可能な限り地域において生活できる社会を目指すことについては、「必要と思う」と「どちらかといえば必要と思う」を合わせた【必要と思う】の割合は91.9％となっている。また、そのために必要なことは、「障害のある方が働く場の確保、充実」53.9％が最も高く、次いで「障害のある方が困ったときに相談できる体制づくり」35.5％、「ヘルパーの派遣など在宅サービスの充実」26.7％などとなっている。

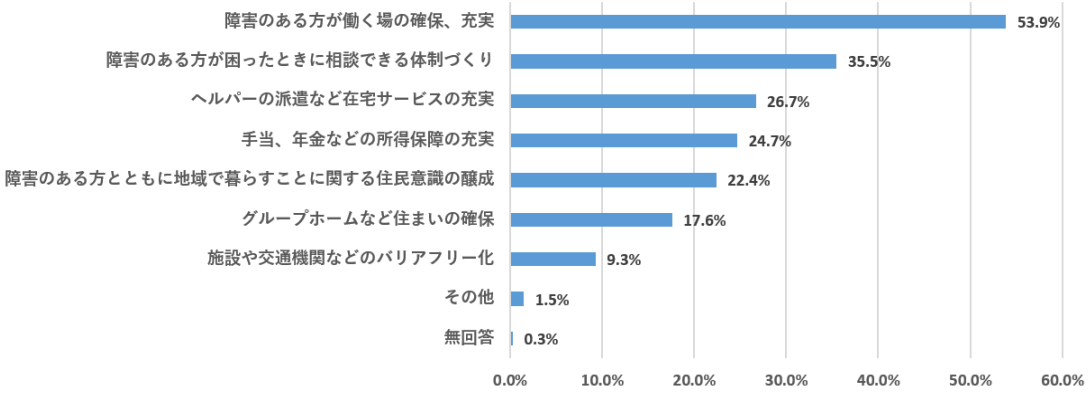
障害者に対する福祉への関心度について



障害者の地域移行に対する考え



障害のある方が地域で生活していくために必要なこと

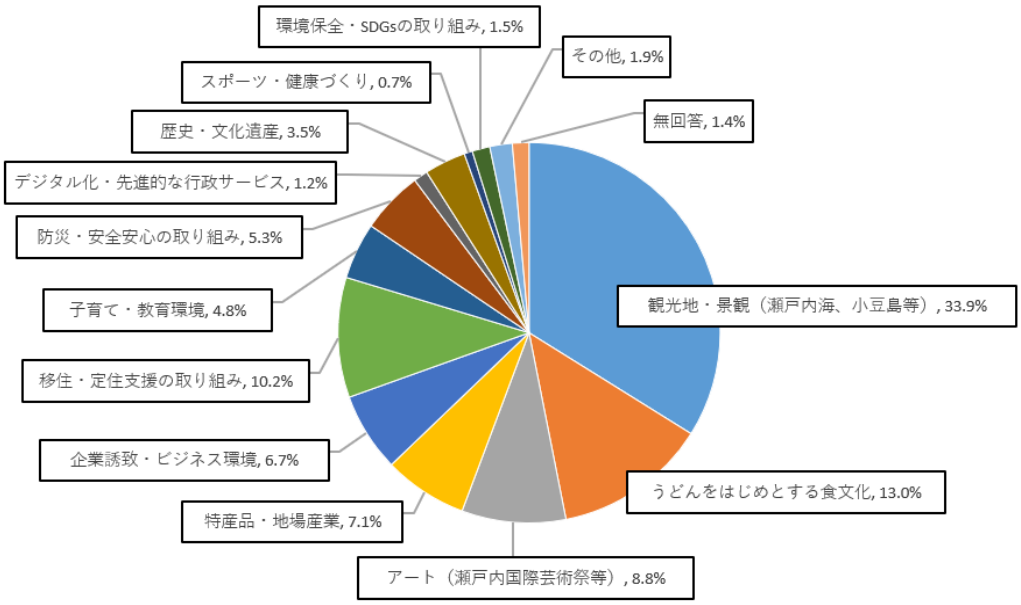


３．香川県の広報について

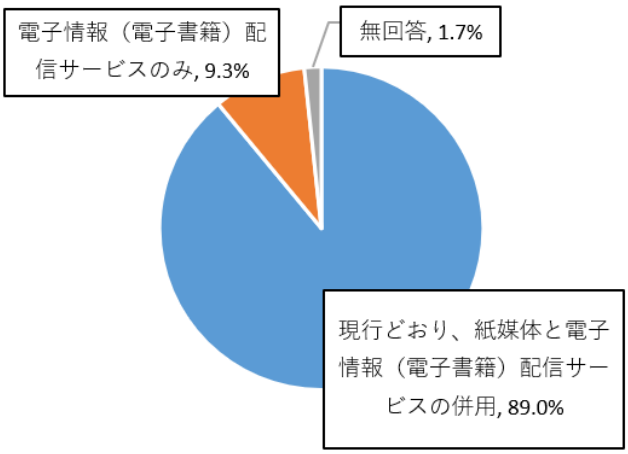
県ホームページのトップページで特にアピールすべきものについて、「観光地・景観（瀬戸内海、小豆島等）」33.9%が最も高く、次いで「うどんをはじめとする食文化」13.0%、「移住・定住支援の取り組み」10.2%、「アート（瀬戸内国際芸術祭等）」8.8%などとなっている。

また、今後、県広報誌の媒体（発信方法）はどうあるべきかについて、「現行どおり、紙媒体と電子情報（電子書籍）配信サービスの併用」が 89.0%と高く、「電子情報（電子書籍）配信サービスのみ」は 9.3%となっている。

香川県の魅力や強みを県外・海外に発信する際、県ホームページのトップページで特にアピールすべきだと思うものはどれか。



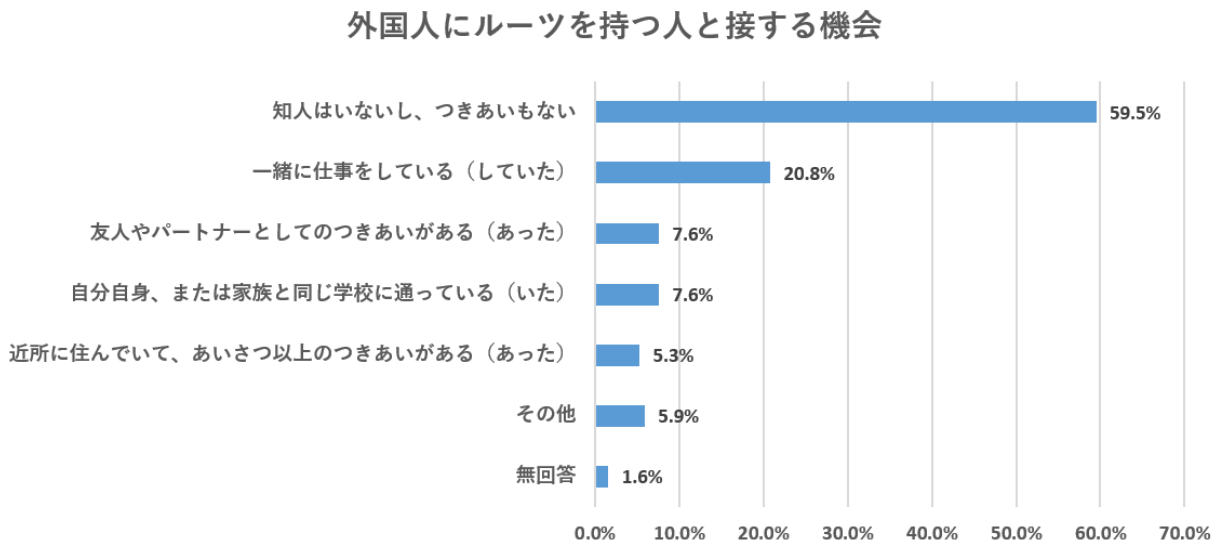
今後、県広報誌の媒体（発信方法）はどうあるべきだと思うか。

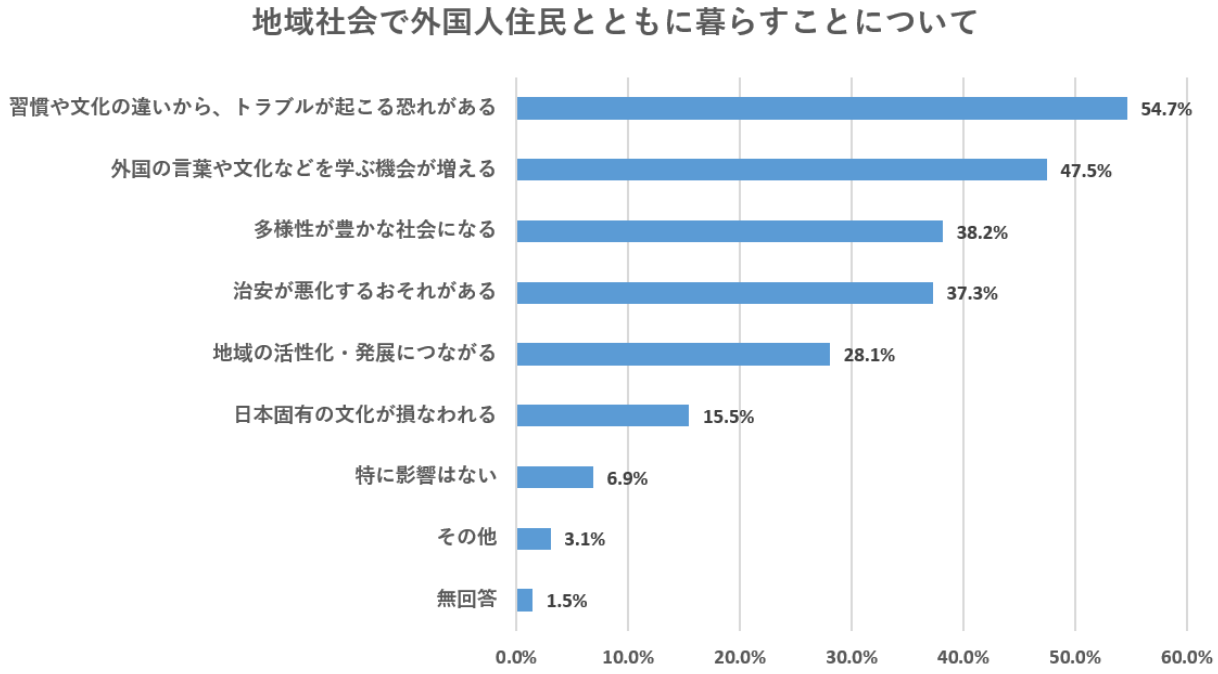


４．多文化共生について

外国にルーツを持つ人と接する機会について、「知人はいないし、つきあいもない」59.5%が最も高くなっている。一方、「一緒に仕事をしている（していた）」20.8%が高く、「友人やパートナーとしてのつきあいがある（あった）」、「自分自身、または家族と同じ学校に通っている（いた）」が 7.6%と同率で続いている。

また、地域社会で外国人住民と共に暮らすことについて、「習慣や文化の違いから、トラブルが起こる恐れがある」54.7%が最も高く、次いで「外国の言葉や文化などを学ぶ機会が増える」47.5%、「多様性が豊かな社会になる」38.2%、「治安が悪化するおそれがある」37.3%、「地域の活性化・発展につながる」28.1%などとなっている。





５．県政の重要度と満足度について

「『人生 100 年時代のフロンティア県・香川』実現計画」の各施策（26 分野）について、どのくらい重要と考えているか、現状にどのくらい満足しているか、それぞれ５段階で評価を聞いた。

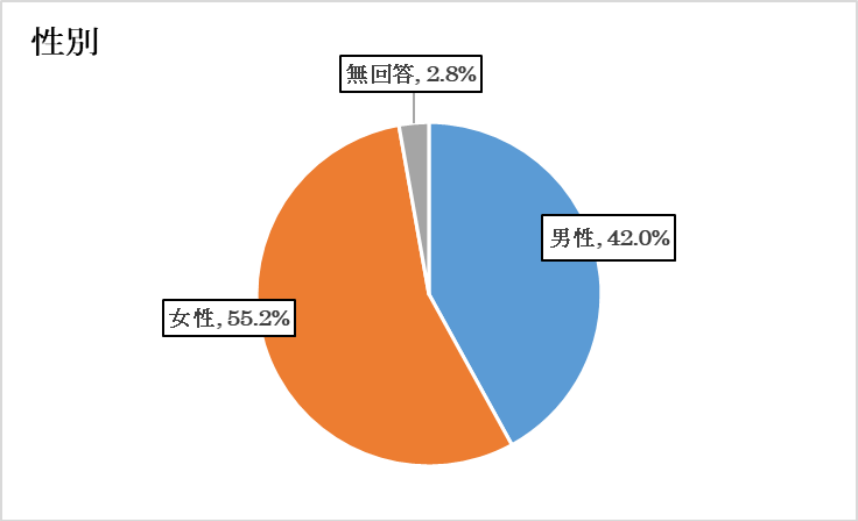
重要度について、「とても重要である」と「まあ重要である」を合わせた【重要である】の割合は、高い順に『安心できる医療・介護の充実確保』93.1%、『防災・減災社会の構築』90.8%、『安心して暮らせる水循環社会の確立』90.8%などとなっている。

また、満足度について、「とても不満である」と「やや不満である」を合わせた【不満である】の割合は、高い順に『安心できる医療・介護の充実確保』20.6%、『定住人口の拡大』17.6%、『農林水産業の振興』17.0%などとなっている。

（参考）「『人生 100 年時代のフロンティア県・香川』実現計画」施策体系

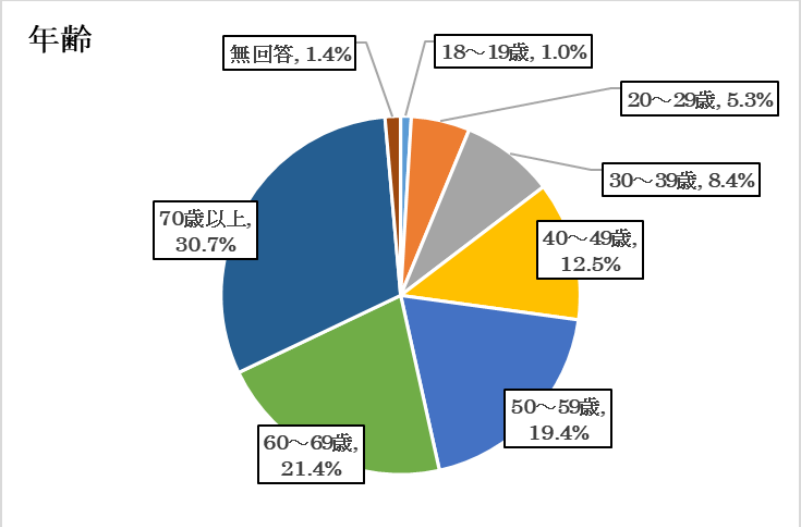
基本目標	基本方針	分野
「人生100年時代のフロンティア県」の実現	1　安全・安心で住みたくなる香川をつくる 「県民 100 万人計画」	（1）子育て支援社会の実現 （2）教育の充実 （3）男女共同参画社会の実現 （4）健康長寿の推進 （5）地域福祉の推進 （6）安心できる医療・介護の充実確保 （7）防災・減災社会の構築 （8）安心して暮らせる水循環社会の確立 （9）安全で安心できる暮らしの形成 （10）定住人口の拡大 （11）魅力ある大学づくり （12）人権尊重社会の実現 （13）青少年の育成と県民の社会参画の推進
	2　活力に満ち挑戦できる香川をつくる 「デジタル田園都市 100 計画」	（14）商工・サービス業の振興 （15）交通ネットワークの整備 （16）農林水産業の振興 （17）県産品の振興 （18）雇用対策の推進 （19）外国人材の受入れ支援・共生推進 （20）環境の保全 （21）みどり豊かな暮らしの創造 （22）活力ある地域づくり （23）デジタル化の推進
	3　多くの人が行き交い訪れたくなる香川をつくる 「にぎわい 100 計画」	（24）交流人口の回復・拡大 （25）文化芸術の振興 （26）スポーツの振興

◆調査回答者の属性



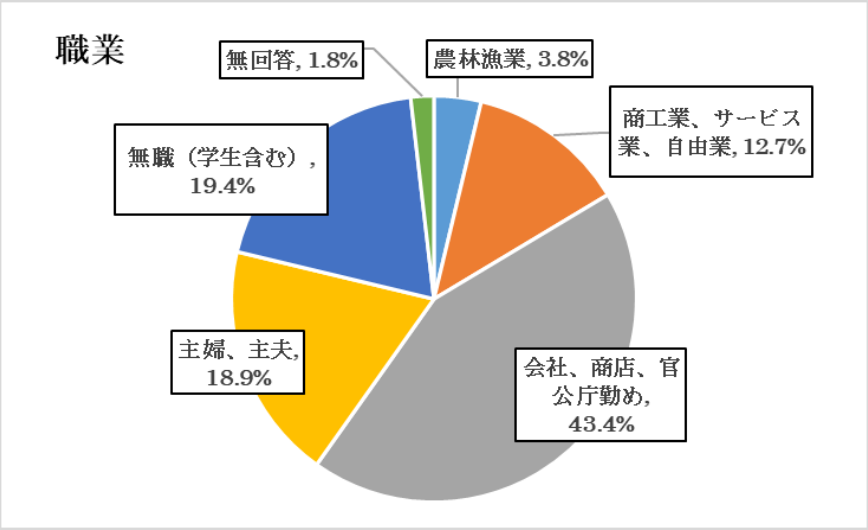
区分	回答者数（人）	構成比（%）
男性	660　(653)	42.0　(41.6)
女性	867　(871)	55.2　(55.5)
無回答	44　(47)	2.8　(2.9)
合計	1571	100.0

※　( ) 内の数字はウェイトバックした値



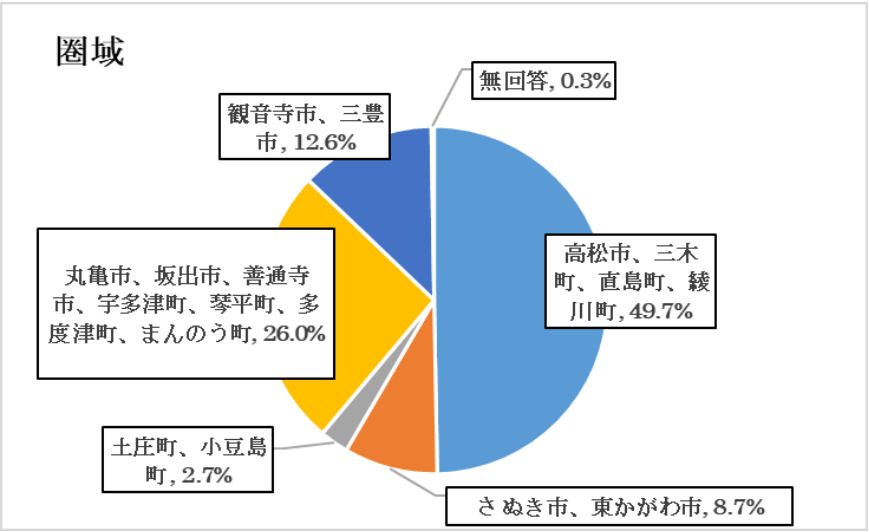
区分	回答者数（人）	構成比（%）
18～19 歳	15　(33)	1.0　(2.1)
20～29 歳	83　(150)	5.3　(9.6)
30～39 歳	132　(173)	8.4　(11.0)
40～49 歳	197　(235)	12.5　(15.0)
50～59 歳	304　(255)	19.4　(16.2)
60～69 歳	336　(225)	21.4　(14.3)
70 歳以上	482　(478)	30.7　(30.4)
無回答	22　(22)	1.4　(1.4)
合計	1571	100.0

※　( ) 内の数字はウェイトバックした値



区分	回答者数（人）	構成比（%）
農林漁業	59 （56）	3.8 （3.6）
商工業、サービス業、自由業	199 （194）	12.7 （12.4）
会社、商店、官公庁勤め	682 （699）	43.4 （44.5）
主婦、主夫	297 （275）	18.9 （17.5）
無職（学生含む）	305 （317）	19.4 （20.2）
無回答	29 （30）	1.8 （1.9）
合計	1571	100.0

※ （）内の数字はウェイトバックした値



区分	回答者数（人）	構成比（%）
高松市、三木町、直島町、綾川町	781 （787）	49.7 （50.1）
さぬき市、東かがわ市	137 （134）	8.7 （8.5）
土庄町、小豆島町	42 （40）	2.7 （2.5）
丸亀市、坂出市、善通寺市、宇多津町、琴平町、多度津町、まんのう町	409 （408）	26.0 （25.9）
観音寺市、三豊市	198 （199）	12.6 （12.6）
無回答	4 （4）	0.3 （0.3）
合計	1571	100.0

※ （）内の数字はウェイトバックした値